大分県立病院広報誌　病院機能評価 Ver.6.0認定病院　当院は敷地内全面禁煙です。

2017年
9月
No.208

県病ニュース秋号

【理念】奉仕・信頼・進歩

『病院からの情報発信』

院　長
井上（いのうえ）敏郎（としろう）

県立病院から、患者さんや一般の方々に向けて発信する情報について申し上げたいと思います。

言うまでもありませんが、病院から発信する情報は患者さんにとって安心して納得の上で病院や治療法を選択・決定していただくために、とても重要なものです。そのために、その情報は患者さんにとって容易に入手でき、分かり易く正確でなければなりません。

元々、病院からの情報発信、広告については利用者保護の観点から医療法で原則禁止とされています。利用者にとって専門性の高い医療の質を広告で判断することは難しく、不適切な広告で誘引されて起こり得る被害について避けなければならないということが法律の求めるところです。

ただし、例外として患者さん自らの意思で選択することのできる広告や、不特定多数を対象にしていない広告については規制が緩和されてきています。

病院の外に向かっての情報伝達の手段は本や雑誌、県病ニュースや新聞のような紙媒体、ラジオやテレビなどの放送、講演そしてホームページが主なものです。他方、病院内には各種の掲示物、冊子類、講演、電子掲示板（デジタルサイネージ）などがあります。院内向けの情報は限られた方々へのものなので、先程の医療法の例外とされ、県立病院では音声や動画を組み合わせた電子掲示板を導入して分かり易い形で情報を伝えようと試みています。他方、院外に向けては不特定多数となり得るため県立病院の個別な内容は許されませんので一般的な医学内容や知識の範囲に留まらざるを得ません。

しかしながら県病健康教室での講演や、ホームページは患者さんがご自身の意思で選択しているため県立病院個別の内容をお伝えすることができるのです。

今後とも患者さんへ分かり易い医療情報を如何に伝えるか、県立病院はまだまだ工夫と努力が必要だと考えています。どうか今後も引き続きご理解、ご支援を宜しくお願いします。

大規模改修工事のご紹介

大分市高砂町から豊饒の地に新築移転してから、早くも四半世紀の年月が流れています。

未だに「新（New）」県立病院と呼ばれている当院においても、病院機能を維持していくための大がかりな手入れが必要な時期を迎えたため、平成24年度に「劣化調査・基本設計」、平成25～26年度に「実施設計」を行っています。その後、「大規模改修工事」は平成27年7月に着工し、まだまだ道半ばという段階ですが、平成32年9月の全体工事完了予定まで「足かけ9年」という大変な長丁場となっています。

【増築棟】

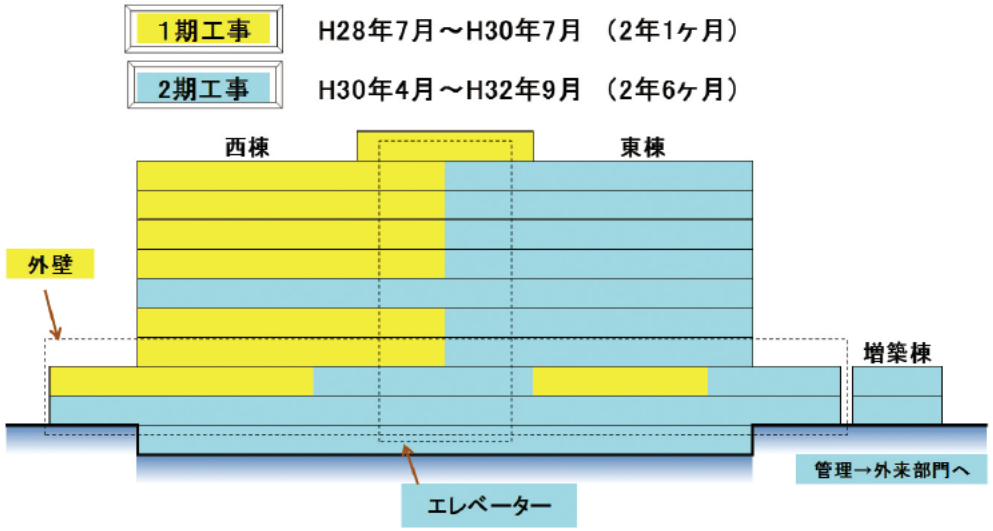
【本館西側】

大規模改修の「方針（＝命題）」は、診療への支障及び病院収益への影響を「最小限」に留めることです。このため、来院者の皆様方には、騒音・振動・使用制限・工事関係車両の進入などにより、多大なご迷惑とご不便をおかけして大変申し訳ありません。本紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、進捗状況ですが、平成27年度には、本館改修に先立って病棟移転を可能とする「増築棟新築」と電子カルテ更新に伴う「サーバー室改修」に着工し、平成28年度早々に完了しています。

また、本館改修は、当初、全館一括で発注しましたが、「工期が長い。」「居ながらの工事である。」との理由から入札不調に至り、発注・設計の見直しにより「1期・2期」の分割工事へと変更され、ようやく平成28年7月に1期工事を着工したところです。この入札不調により、全体事業費の増加、完了工期の半年遅れや短期間での工区分け作業など大きな影響を受けています。

【本館】 工区分けイメージ図



今回の「本丸（ほんまる）」である本館改修の内容は、主として老朽化が進んだ給排水設備と空調設備の更新であり、実に地味な内容となっていますが、このほか「療養環境の改善」を図るため、病室の個別空調化、トイレの全面改修、浴室のバリアフリー化や病室照明のＬＥＤ化なども盛り込んでいます。また、９階西病棟の改修に併せて同病棟内に「結核患者収容モデル病室（２床）」を整備したところです。

全体工程表

区　分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
増築棟							
本館	サーバー室						
	1期工事						
	2期工事						

現在、１期工事の真っ只中です。これまで「10階→２階ＩＣＵ→９階東病棟（簡易）→２階厨房→９階西病棟」において改修が順次完了しており、この「県病ニュース秋号」が発行される頃には、「２階手術室及び８階西病棟」も完了見込となっています。

１期工事の中でも、手術室と厨房は、工事エリアを分割かつ運営を継続しながらという「制約」の多い改修であり、病院現場には大きな負担がかかりました。特に厨房では６ヶ月間も前面廊下の通行止めを実施し、土間のコンクリート破壊工事では、何度も大きな騒音・振動が発生しました。また、病棟改修では工事階とその直下階を「空（カラ）」にして改修を行っていますが、配管切断や天井・床・壁の撤去時などで他のエリアでも騒音・振動が鳴り響いています。西病棟改修のゴールは来年６月とまだ先であり影響が続いていきます。なお、１期工事ではこのほか外壁や１階中央待合ホール天井等の改修がこれからの予定となっています。

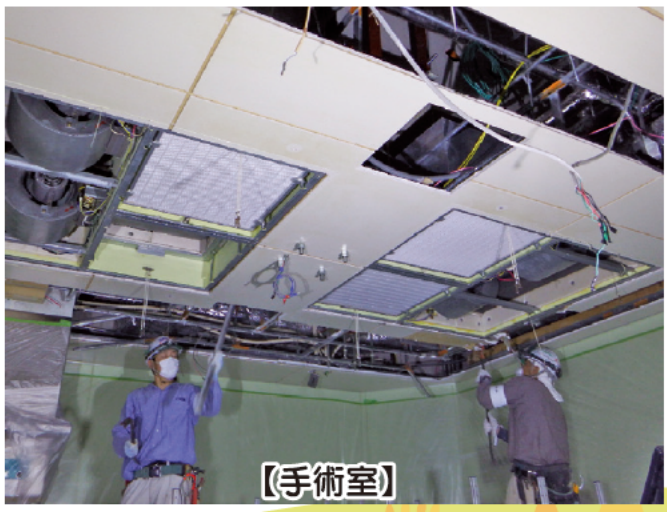
なお、２期工事の入札公告は９月中旬に実施予定です。２期も施工業者が無事に決まり、予定どおりに全体工事が完了することを祈ってやみません。２期工事では、残る「東病棟」、「エレベーター」、「外来・検査エリア」及び「増築棟（管理棟→外来棟）」などの改修を予定しています。

起稿時点では、大きなトラブルは幸い発生していませんが、今後も安全と円滑な施工を第一に、４者（県庁施設整備課、施工業者、監理者及び会計管理課施設管理班）で十分に連携・調整を図りながら改修を進めていきます。残り３年間、引き続き皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いします。

（会計管理課施設管理班　石原浩二）

（追伸）
本年度後半から、精神医療センター建設に係る土地造成及び排水処理施設工事がはじまり、大規模改修工事と重複してきます。

【厨　房】


【手術室】

薬剤部だより

薬剤部における吸入指導について

呼吸器疾患の代表的なものに、喘息や慢性閉塞性肺疾患（以下COPD）などがあります。これらの疾患の治療には、吸入療法が多く用いられます。

特に、タバコの煙などを主とする有害物質を長期に吸入して起こる COPD は一度発症すると元に戻ることは難しく、徐々に症状が進行していくと考えられ、適切な治療を行うことで進行を遅らせ、健康的な生活を送ることが治療目標となります。

このような疾病の治療の基本となる吸入薬については、容器の違いや中身の違い（エアゾルやドライパウダー）など多岐にわたっており、使用方法が少しずつ異なっているため、吸入薬を正しく使用することが治療効果に大きく影響してきます。

そこで、薬剤部では患者様に処方された吸入薬について、ビデオや練習用器機などを使ってその使用方法を個別に分かりやすく指導し、治療効果を上げるようにしています。吸入薬の取扱いについてお困りの際は、薬剤師もしくは主治医・看護師にご相談ください。

（薬剤部　薬剤師　二宮健）

臨床検査技術部だより

細胞診豆知識

～肺癌細胞診について～

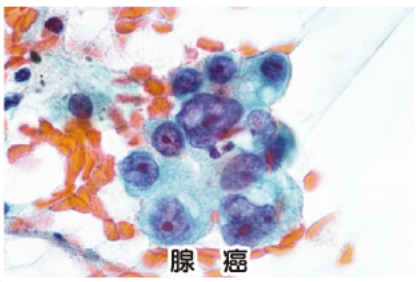
肺がんは日本人のがん死亡原因の1位で、いまだに増加傾向にあります。

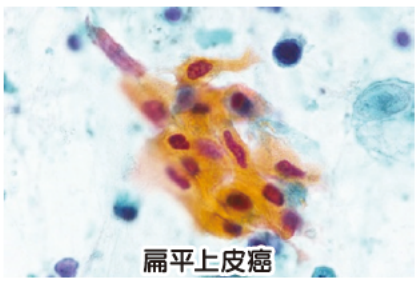
肺がんと一言でいっても、その型（組織型）は50ほどに細かく分類されますが、大きく分けて、悪性度の高い小細胞癌と非小細胞癌に分けらます。非小細胞癌の代表的なものには腺癌と扁平上皮癌があり、その発生頻度は腺癌が最も高く、扁平上皮癌、小細胞癌がそれに続き、この3つの型で全肺がんの95%以上を占めます。

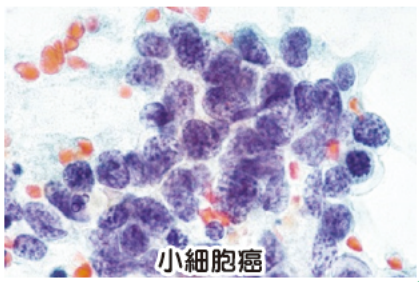
また、腺癌に対しては近年多くの新しい治療薬（分子標的薬）が開発されており、扁平上皮癌、小細胞癌もそれぞれ異なる治療法が確立されています。

病理検査室では細胞診で痰、気管支鏡等で得られた検体を染色して、検鏡・診断を行っており、その迅速で正確な診断はこれら治療を決定するうえで重要なものとなります。

（臨床検査技術部　臨床検査技師　梶川幸二）


腺　癌


扁平上皮癌


小細胞癌

看護部からの豆知識

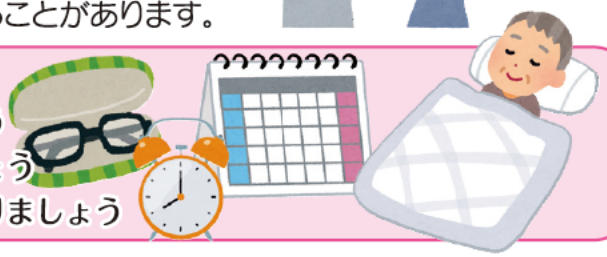
ご本人やご家族でせん妄を予防しましょう

入院で急に環境が変わったり、ストレスがかかったりした時に「せん妄」を起こすことがあります。

【せん妄の症状】
- ◆落ち着きがなくなり、急に怒りっぽくなったり、興奮したりする
- ◆時間や日付がわからなくなる
- ◆見えないものが見えたり、ありえないことを言ったりする　など

急に症状が出たり、夜間になると悪化したりすることがあります。

【入院中にせん妄を起こさないために】
- ●使い慣れたメガネや補聴器を使用しましょう
- ●時計やカレンダーを見える位置に置きましょう
- ●日中の活動量を増やし、夜間はしっかり眠りましょう



ご家族や友人など慣れ親しんだ人がそばにいることで安心されますので、できるだけ面会にお越しください。
ご協力をお願いいたします。

（認知症ケアチーム　看護師　佐藤容子）

放射線技術部だより

漏洩線量測定とは？

放射線を扱う検査室や治療室（放射線管理区域）では、6ヶ月ごとに、「放射線が検査室の外に漏れていないか」、「定められた線量の値におさまっているか」を計測する「漏洩線量測定」の実施が法令で義務づけられています。

方法は、放射線（X線）の照射を行い、廊下や隣接する部屋、操作室等に放射線が漏れていないかを放射線測定器（電離箱式サーベイメータ）を使用して測定を行います。

当院でも、すべての検査室において実施しています。今までの漏洩線量測定では放射線の漏れは検出されず、安全が確認されています。

また、放射線管理区域には「管理区域標識」を貼っています。案内があるまでは入室はご遠慮下さい。

（診療放射線技師　秋山祐葵）

栄養管理部だより

「高齢者の食事の工夫」シリーズ<その５>

～ 食欲不振時の対応 ～

食欲不振の原因は、①体調不良　②精神的な問題　③薬の副作用　などが挙げられます。食事量が減少すると活動量が低下し、ADL（日常生活動作）の低下を招きます。食欲不振時の食事対応をいくつかご紹介します。

①少量を数種類準備する	好きな物、食べられそうな物を少量数種類準備してみましょう。食べられたという満足感につながります。
②喉の通りの良い物を口にする	ゼリー・寒天・プリンなどは、ツルッと食べる事ができます。アイスクリームは口に入れると溶けるので、お勧めです。
③少量で高カロリーの食品を準備する	食事摂取量が低下している時は、栄養補助食品の利用をお勧めします。少量でご飯一杯分のエネルギーを補給できる補助食品もあります。ドラッグストア等で販売しています。
④間食を取り入れる	食事摂取量の少ない方は、間食で不足しているエネルギーを少しでも補えると良いですね。バナナ・牛乳・ヨーグルト・チーズ・ナッツなど、いかがでしょう。

※バランス良く食事を摂ることは大切な事ですが、まずは好きな物、食べやすいものから食べてみましょう。ゼロより、何か一口でも口に入れてみようという気持ちが大切ですね。

（栄養管理部　管理栄養士　内藤さおり）

MEセンターのご紹介

MEとは『Medical Engineering(医用工学)』を意味し、ME機器とは患者さんの診断や治療などに使用される医療機器を指します。臨床工学技士はこうしたME機器を扱う専門医療職です。

当院のMEセンターでは、院内のME機器の安全性の向上を目的に、手術室、病棟、外来、人工透析室などで使用される人工呼吸器、血液浄化装置、輸液・シリンポンプなど様々なME機器の保守点検業務を行なっており、適切に使用することを目的に看護師等他の医療スタッフに対して勉強会を開催しています。

保守点検業務以外にも心臓血管外科手術で使用する人工心肺装置や血液透析で使用される人工透析装置といった生命維持管理装置を医師の指示の下に操作して医療に貢献しています。当院では昨年から臨床工学技士の血管造影室での心臓カテーテル検査分野での業務を開始しており、よりいっそう臨床工学技士の技術が必要とされています。

今後も患者さんが安全・安心して治療を行えるように業務に励んでいきます。

（MEセンター　臨床工学技士　松田侑己）

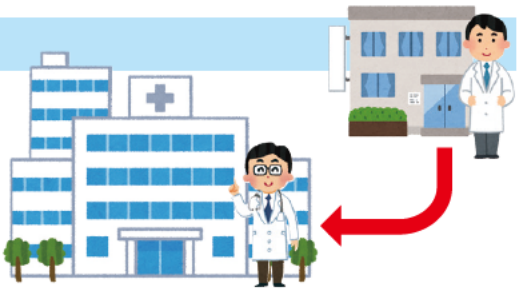
MEセンター内中央管理（貸出部屋）に並んでいるME機器

手術室ME機器（心臓血管外科関連）

医療ネットワーク

［診療支援センターのサービス］
診療支援センターでは、患者さんが円滑に受診しやすい環境を整備し、住みなれた地域で必要とする医療を安心して受けられるよう、医療や福祉サービスとの連携を進めています。

○受診への支援（かかりつけ医、診療科との連携）



かかりつけ医からご紹介いただいた患者さんについては、事前に送られてくる診療情報により病状や経過を迅速に把握し、スムーズに受診できるよう、それぞれの診療科と連携しています。

○退院に向けた支援（地域の医療機関、ご家族との連携）

当院で急性期（病気の症状が急激に現れる時期）の治療を受けられた後は、退院に向けて必要に応じて地域の医療機関を紹介し、患者さんが安心して治療を継続できるようにしています。また、入院時から、患者さんやご家族と丁寧に話し合い、ご自宅等への生活へスムーズに移行できるよう、スタッフ一丸となってお手伝いします。

○さまざまな相談事への支援

患者さんやご家族のさまざまな療養に関するお悩みに医療ソーシャルワーカーやその他の専門職員がアドバイスや情報提供を行い、問題解決のお手伝いをします。

また、がん患者さんの相談には、院内のがん相談支援センターと連携しながらお手伝いをします。

どうぞお気軽にご相談ください。

大分県立病院診療支援センター
TEL:097-546-7129 ／ FAX:097-546-7368
E-mail:chiiki-renkei@oitapref-hosp.jp

外来診療一覧表

注）診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。
（平成29年9月1日現在）

診療科＼曜日	月	火	水	木	金
循環器内科	○	○	検査日	○	○
内分泌・代謝内科	○	○	○	○	○
消化器内科	○	○	○	○	○
腎臓内科	休診	○	休診	○	休診
膠原病・リウマチ内科	○	休診	○	○	○
呼吸器内科 新患	○	急患のみ	○	○	○
呼吸器内科 再来		○			
呼吸器腫瘍内科	○	休診	○	休診	○
血液内科	○	○	○	○	○
神経内科	○	○	○	○	○
外科 消化器	○	○	○	○	○
外科 乳腺					
脳神経外科	手術日休診	○	○	○	手術日休診
呼吸器外科	○	○	休診	○	○
心臓血管外科	○	手術日休診	○	手術日休診	○
整形外科	○	○	手術日休診	○	○
形成外科	○	○	○	○	○
眼科	○	手術日予約のみ	○	手術日予約のみ	○

診療科＼曜日	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科	○	○	手術日休診	○	○
婦人科 新患 ※紹介患者さん優先とさせていただきます。	○	手術日休診	○	手術日休診	○
婦人科 再来		○		○	
産科	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
新生児科	○	○	○	○	○
小児外科	○	○	○	手術日休診	○
内視鏡科 消化管	○	○	○	○	○
内視鏡科 気管支	休診		休診		休診
皮膚科 ※紹介患者さん優先とさせていただきます。	○	手術日休診	○	手術日休診	○
泌尿器科 新患	○	○	○	○	○
泌尿器科 再来		手術日休診		手術日休診	
精神神経科	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制
緩和ケア外来	○ 15時から	休診	休診	休診	休診
放射線科	○	○	○	午前中休診 ○	○
歯科口腔外科	○	予約のみ	○	予約のみ	○
外来化学療法室	○	○	○	○	○
診療科の判断が困難な場合の担当診療科	消化器内科	1・3・5週 内分泌・代謝内科 / 2・4週 循環器内科	呼吸器内科	神経内科	血液内科

アクセス

JR：大分駅からタクシーで約15分または
南大分駅からタクシーで約8分
バス：大分駅前・トキハ前バス停からバス・徒歩を含めて約25分
（大分市内中心部から約25分間隔で運行）
駐車場：有料駐車場（約400台）完備（1時間まで無料）

受付時間 午前8時～午前11時

救急患者は24時間受入

診療開始時間 午前8時30分

休診日 土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

紹介による受診に関する事は…
地域医療連携班
平日（土・日・祝日除く）
午前8時15分～午後5時
TEL 097－546－7129
FAX 097－546－7368

療養中の心配事や不安などは…
患者相談支援班
平日（土・日・祝日除く）
午前8時30分～午後5時
TEL 097－546－7125

Oita Prefectural Hospital
大分県立病院（ぶんにょう）
〒870－8511 大分市大字豊饒476番地
TEL 097-546-7111～2（代表） FAX 097-546-0725 総務経営課広報係 2710（内線）
E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ http://hospital.pref.oita.jp/

※当ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。